

アルコール・インターロック装置に関する アンケート調査のお願い

財団法人 日本自動車研究所

1. はじめに

このアンケート調査は、財団法人 日本自動車研究所が国土交通省の委託により進めております。アンケートへの回答にあたっては、アルコール・インターロック装置の現状を踏まえてお答えいただければ幸いです。

2. 調査の目的

平成 18 年 8 月、福岡県で飲酒運転の車によって、幼い 3 人の子供の命が失われるという大変痛ましい事故が発生し、その後も、飲酒運転による死亡・重大事故が相次いだことを契機に飲酒運転問題が大きな社会的関心事となっています。

飲酒運転根絶の議論を進める中で、飲酒運転防止装置（アルコール・インターロック装置）の車両への搭載可能性を調査しております。つきましては、ドライバーの方々のご意見をお伺いして、今後の議論に反映させていただこうとするものです。

3. 飲酒運転防止装置（アルコール・インターロック装置）

3-1 アルコール・インターロック装置とは

エンジン始動時、ドライバーの呼気中のアルコール濃度を計測し、規程値を超える場合には、エンジンを始動できないようにする装置です（アルコール濃度検出装置と検出結果を判断してエンジン始動の可否を決める装置の組み合わせ）。

3-2 アルコール・インターロック装置の現状レベル

- 1) 既に開発されているアルコール濃度検出装置には、長期間安定的に使用できるものは無く、2 ヶ月程度の周期でメンテナンスが必要です。
- 2) アルコール検出装置は電源を入れてから計測できるまでに 3 分程度を要し、自動車に乗り込む度に待ち時間が発生します。
- 3) アルコール・インターロック装置の現状価格はおよそ 20 万円です。
- 4) 多くの方々が運転する事業用車両では感染症防止のため、呼気を吹き込む部分の衛生管理（消毒あるいはマウスピースの準備）が必要になります。

3-3 アルコール・インターロック装置の海外での採用状況

アメリカ合衆国、カナダでは、飲酒運転による事故の処罰を受けて社会復帰したドライバーが運転する自動車および飲酒運転違反者が処罰を受けた後に運転する自動車に取り付け義務を課していますが、現状では約 7 万台で違反者の 10%程度しか適用できていないという実態です。

スウェーデンでは、新車への取り付け義務化の議論が行なわれていますが、法制化はできていません。

本アンケートのご回答は、アルコール・インターロック装置の車両への搭載可能性調査のための資料とし、その他の目的に使用するものではありません。

● アルコール・インターロック装置とは？

エンジン始動時，ドライバーの呼気中のアルコール濃度を計測し，規定値を超える場合には始動出来ないようにする装置。

測定開始まではスイッチを入れて約3分ほどのウォームアップが必要．価格は20万円程度。

下記の使用例では，走行中にもチェックを行い，基準値を超えていると警報（外部にも聞こえるサイレン）が鳴る。

<使用例> ↓



現在実用化されているのは，呼気のアアルコールを検知する方式のみ。

● 米国での例

飲酒運転違反者の一部に対して，アルコールインターロック装置付きの車両の運転を許可する制度を運用。

上記の使用例に示すようにエンジン始動時だけでなく走行時にもチェックを行う．データは記録され，装置のメンテナンスを含め定期的に記録データを取り出している。

● スウェーデンの例

2007年以降，スウェーデン道路庁で使用する3.5トン以上のトラック等（使用時間：年間100時間以上）に装着する．1～1.5万台に装着される見込み。

アルコール・インターロック装置アンケート(案)

1. 年齢
 - a. 19 歳以下
 - b. 20～29 歳
 - c. 30～39 歳
 - d. 40～49 歳
 - e. 50～59 歳
 - f. 60 歳以上

2. 性別
 - a. 男
 - b. 女

3. 職業
 - a. 会社員・公務員等
 - b. 自営業
 - c. 無職
 - d. その他

4. 運転歴
 - a. 5 年以下
 - b. 6～20 年
 - c. 21 年以上
 - d. 免許無し

5. 個人またはご家族で車を所有していますか
 - a. 所有している.
 - b. 所有していない.
 - c. その他

6. アルコールインターロック装置を装着することで飲酒事故は減ると思いますか
 - a. 飲酒事故は減る.
 - b. 少しは減る.
 - c. 変わらない.
 - d. 少し増える.
 - e. 増える.
 - f. 分からない.

7. 供用の車(例えば会社等の車, レンタカー等)にアルコールインターロック装置が装着されるとしたら, どう思いますか
 - a. 飲酒運転を防止する上で当然である.
 - b. 飲酒運転を防止するためにはしょうがない.
 - c. できれば, 供用する車両にはつけて欲しくない.
 - d. つける必要はない.
 - e. 分からない.

8. 飲酒事故の当事者はアルコールインターロック装置を装着している車しか運転できないとする方法もあります。どう思いますか
- 飲酒事故の再発防止のために当然である。
 - 一定期間の処置として装置を装着している車しか運転できないとするのがよい。
 - その必要はない。
 - 分からない。
9. インターロック装置がいくらくらいならばあなたの車に装着しますか(許容できる最大の価格. 装着費用も含む) (*現在の価格は 20 万円程度です)
- いくらでも良い
 - 10 万円まで
 - 5 万円まで
 - 2 万円まで
 - 1 万円まで
 - 5 千円まで
 - 2 千円まで
 - 分からない。
 - つけない。
10. インターロック装置をつけた場合, 装置のメンテナンスの周期はどれくらいならばいいですか(許容できる最小の周期) (*現在のメンテナンス周期は 2 ヶ月程度です)
- 10 年以上
 - 5 年以上
 - 2 年以上(乗用車では車検時に整備)
 - 1 年以上(商用車では車検時に整備)
 - 半年以上
 - 分からない。
 - つけない。
11. メンテナンスの費用はどれくらいならばいいですか(許容できる最高額)
- いくらでも良い
 - 2 万円まで
 - 1 万円まで
 - 5 千円まで
 - 2 千円まで
 - 千円まで
 - 分からない。
 - つけない。
12. アルコールインターロック装置を装着するとするならば, どのような対象に装着するのが良いと思いますか
- 全車に装着
 - 運送・運輸関連業の車両に装着
 - 飲酒運転の違反者の使用車に装着
 - 飲酒運転事故の当事者の使用車に装着
 - 希望する対象のみに装着

- f. 装着の必要はない.
 - g. 分からない.
13. 最後にもう一度伺います. アルコールインターロック装置をあなたの車につけますか
- a. つける.
 - b. できればつけたい.
 - c. どちらでも良い.
 - d. できればつけたくない.
 - e. つけない.
 - f. 分からない.
14. 「つけない方」にお伺いします. その理由をなんですか(複数回答)
- a. 価格が高い.
 - b. メンテナンスが面倒.
 - c. メンテナンス価格が高い.
 - d. 呼気で検査する.
 - e. つけたくない.
 - f. 分からない.
 - g. 飲酒しない.
15. 「つけない方」にお伺いします. 次の様に改善されるとつけますか(複数回答)
- a. 呼気の以外の簡単な検査.
 - b. エンジン始動時だけの検査.
 - c. 走行中だけの検査.
 - d. つけない.
 - e. 分からない.
16. その他, ご意見・ご提案・ご感想など

アンケート調査の一次スクリーニングの件

ドライバーに対する意識調査アンケートの調査対象者（調査メールを送信する相手：回答結果の比率ではない）スクリーニングの条件を下記のように考えております。ご検討下さい。

一次スクリーニングの条件

1. 対象者の住まいの地域：ランダム

2. 男女比：

（案1）男性 57%，女性 43%（運転免許保有比）

（案2）男性 64%，女性 36%（最近時点購入者の主運転者比率，2005年）

出典：日本の自動車工業 2006年判 P.54

（案3）男性 90%，女性 10%（飲酒運転事故比率：交通事故分析センターデータ）

3. 自動車を運転している人

除外業種：マスコミ・広告・市場調査関連・新聞・放送業